[[[[[[[[[[　STECO ECO-Magazine　]]]]]]]]]]　No.027/2013

==========

8 月 1 日の国務院発布で明確なロードマップが提示！

『合同能源管理企業（EMC 事業者）＝”省エネドクター”による

ワンストップ式サービスで省エネ・環境改善を行うこと』

2015 年末までの待ったなしの省エネです！

==========

☆☆☆☆　第 27 号　☆☆☆☆

＜石炭使用を削減し、天然ガス化が加速しています！＞

〇〇〇さん！省エネ・環保のエガちゃんです。いかがお過ごしですか？

短い秋が過ぎ去り、もう間近に上海の冬が到来したようです。ずいぶん涼しい気温となりました。

さて、今日は石炭使用に関する情報です。

まず、インターネット上の情報をご紹介いたします。

1)　　財経新聞によると

『中国財政部は 14 日、北京市および周辺地域（北京、天津、河北、山東など 6 省市）の大気汚染対策として、50 億元（約 800 億円）の資金を拠出すると発表した。微小粒子状物質「PM2.5」の濃度引き下げや汚染修復への投資などにおいて評価の高かった企業に対し、奨励金の形で付与する方針という。』とのこと。

http://www.zaikei.co.jp/article/20131016/156942.html

2)　　日本の産経 BIZ には以下のような記事が出ております。

『中国中央人民ラジオ局第１放送「中国の声」の報道番組「全国新聞聯播」によると、中国環境保護省、国家発展改革委員会などは「北京、天津、河北省および周辺地域の大気汚染防止行動計画実施細則」を共同発表、対象地域での石炭ボイラーの使用を完全に停止するよう強く求めた。』

http://www.sankeibiz.jp/macro/news/131011/mcb1310110503018-n1.htm

PM2.5 の原因として石炭を使った発電や蒸気生産が問題視されており、民間に於いては蒸気発生に使用される石炭炊きボイラの撤廃が進められています。国家級、各自治体級の優遇策や補助金が設定されており、石炭炊きボイラをガス炊きボイラ（または、油炊きボイラ）に入れ替える事に対しては、新しいボイラが購入できるレベルの補助金が設定されており、既にその支払いは始まっております。

ただ、今回の報道で、この入れ替えプロジェクトが加速すると思われ、補助金が足らなくなるのではと言う噂も出ているくらいです。

よって、もし〇〇〇さんの工場で、またはお近くの工場で今も尚石炭炊きボイラをご使用の工場があれば急ぎ入れ替えプロジェクトを開始して頂くように促して下さい。

遅くなればなるほど、リスクが高くなります。

そして政府主導の『環境産業を積極的に成長させる戦略』が進められています。

〇〇〇さんも今後の動向にご注意ください。

上海清環環保科技有限公司